

やまもり通信9

vol.61

秋のはじまり。
毎年栗きんとんを食べるのが楽しみです。



【加子母の風景】夕立のあと、真っ赤な夕焼けに染まる里に虹がかかりました。



やまもり
yamamori

ちかくのいいもん
関西のお店

Acorns Flower Design Studio

北摂の皆さま、こんにちは。

箕面市粟生外院で昨年 8 月にオープンしました Acorns Flower Design Studio（エーコーンズフラワーデザインスタジオ）と申します。

フレッシュな切花や鉢植えの販売はもちろん、デザインや色彩にこだわったフラワーアレンジメントの作製、花壇やお庭の植栽のご提案・施工などを行い、お客様の日々の暮らしを一層素敵なものにして頂けるよう活動しています。



また店内でのフラワーアレンジメントレッスンのほか、出張レッスンも承りますのでお電話やメールでお気軽にお問い合わせください。¥2000以上のご購入で「やまもり通信」を見たとお声かけくだされば先着10名様にミニドライブーケのプレゼントをご用意しております。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



HP



Instagram

Acorns Flower Design Studio 代表 藤本仁美
大阪府箕面市粟生外院3丁目7-7 TEL/ FAX:072-737-7940
E-mail: acorns@uj.lolipop.jp
www.acorns-flowerdesign.com

岐阜だより

岐阜県内おすすめのイベント・観光スポット

●岐阜市の岐阜市歴史博物館では、NHK 大河ドラマ特別展『麒麟がくる』が下記の期間開催されます。本来、大阪と岐阜の2か所で開催予定でしたが、大阪の特別展が新型コロナウイルスの影響で中止となったため、唯一岐阜でのみの開催です。光秀ゆかりの刀剣や茶器、明智光秀画像などが展示されます。

貴重な機会ですので、是非行ってみてください。

【期間】9月18日(金)～11月3日(火・祝)

【場所】岐阜市歴史博物館1F 特別展示室

【料金】高校生以上：1200円 中学生以下：600円

※オンラインによる事前予約が必要です。詳しくはHPをご覧ください。

●可児市の「麒麟がくる ぎふ可児 大河ドラマ館」では下記の期間、『歴代大河ドラマ「明智光秀」甲冑展』を開催しています。過去の大河ドラマの撮影に実際使用された明智光秀の甲冑が展示されています。どの大河ドラマに登場したか思い出しながら観るのも楽しいかもしれません。

【期間】8月1日(土)～9月30日(水)

【場所】明智光秀博覧会会場内（花のミュージアム2階研修室）※入場無料

●恵那市の「麒麟がくる ぎふ恵那 大河ドラマ館」では 8月2日より体験コンテンツとしておみくじ付きのスタンプカードや来場を記念した登館記念証（期間限定）、ドラマ館と併設で開催の『明智光秀が生きた時代の東美濃戦国史特別展示』を詳しく紹介した「冊子」をご来場の皆様に配布しています。登館記念証は季節ごとに変わるので、集めてみてはいかがでしょうか？

上記に関するパンフレットは彩都やまもり（箕面市彩都栗生南 1-17-26）で取り揃えています。

彩都やまもり
あじと日記

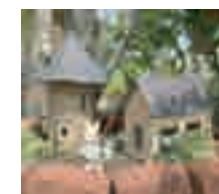
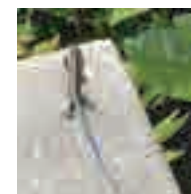
彩都やまもりの住人

ここ最近、彩都やまもりに新たな住人？がやってきました。

1 四目はとっても大きいカミキリムシくん。網戸に足が引っ掛かり動けなくなっていたところをスタッフが助け、そのまま元気に帰っていききました～！かなり大きく大迫力だったので、虫が苦手な方は写真は見ないでくださいね・・・笑

2 四目は虹色のしっぽを持つニホントカゲちゃん。7月末ごろ突如現れ、最近彩都やまもりの庭を冒険しまくっています！まだまだ滞在しているみたいなので、みなさんも会えるかも？しっぽが虹色のグラデーションになっていてとてもきれいです。

最後はちいさなどうぶつたち。うさぎと鳥とカエルちゃんです。みんなで小さなまちの小さなおうちでなかよく暮らしています。地元地域で活動されている陶芸グループ「遊水窯」の H さんがつくられたもので、とってもかわいいです。ほっこり癒されるのでぜひみなさんもお近くにきた際はのぞいてみてくださいね～！



OKBアプリ

「もっとスマートにお金を管理したい」。そんな方には「OKBアプリ」がおススメ！口座残高や入出金明細が一目で確認できるほか、OKB以外の銀行口座残高なども「一生通帳 by Moneytree」を通して確認できます。

“お客さまともっともつつながる”アプリです。

OKB 大垣共立銀行

2020年9月発行

発行◎関西岐阜県人連合会

HP ◎http://yamamori.site

お問い合わせ◎ 関西岐阜県人連合会 事務局

TEL 072-739-6046 / FAX 072-726-2401

メール/代表 nakashima@kinoie.in

<今月のギャラリー案内> 彩輝館ギャラリー

「“麒麟がくる”ゆかりの地を巡る」を案内します。

【期間】9月2日(水)～10月19日(月)

新型コロナウイルスの影響で一時中断していた大河ドラマ「麒麟がくる」放送再開を記念して、明智光秀ゆかりの地をご紹介します。また戦国武将たちの武将装束・甲冑などの他、「麒麟がくる」にちなんだ各市のグッズも展示の予定。
明智光秀やそのほか戦国武将たちの野望やロマンあふれる歴史に触れる旅、行ってみたいですね。



去年の展示風景から

《彩都やまもり今月のイベント》

新型コロナウイルス感染防止策を取りながら下記イベント開催を予定しています。

「やまもり市」

大工さん手作りの屋台が「かわいい」と好評。朴葉寿司をはじめ岐阜の特産品や東濃ひのきの木工品など回を追うごとに少しずつラインナップを増やしています。お子様連れにも楽しんでいただける「木のふれあいコーナー」も予定している他、9月の「やまもり市」では「おがくず詰め放題」に「ひのきのボールすくい」、10月4日(日)の「やまもり市」では「大工さんと一緒にかなな削り体験」も開催予定です。削ったかななはポップリにプレゼント！

【日時】9月5日(土)、6日(日) 9:30～15:00頃

10月3日(土)、4日(日) 9:30～15:00頃

【場所】彩都やまもり敷地内

※新型コロナウイルスの影響で、中止や内容変更になる場合があります。
最新情報は随時彩都やまもり HP (https://yamamori.site) や facebook でご確認ください。



【お問合せ】彩都やまもり(TEL:072-739-6046)

●岐阜への移住を応援しています。

関西岐阜県人連合会では、彩都やまもりギャラリー内での観光PRだけでなく、移住相談業務も担っております。

岐阜へ移住し、自分らしい新しい暮らしのスタイルを見つけてみませんか?ご興味のある方は、お気軽に相談員にご相談ください。

10月～12月にかけては特に農業に興味のある方向けの就農相談会やイベントなどの企画を予定しておりますので、ぜひご参加ください。

【お問い合わせ先】

TEL:072-737-5421(日・月・祝日は休み)

E-mail: gifu-iju@yamamori.site

HP: 岐阜県移住・定住ポータルサイト「ふふふぎふ」で検索ください。(https://gifu-iju.com)

【相談窓口】

※相談員が駐在していない日もあります。事前にお問い合わせください。

大阪ふるさと暮らし情報センター

大阪市中央区本町橋2-31 シティプラザ大阪1階

彩都やまもり

箕面市彩都栗生南1-17-26 関西岐阜県人連合会ふるさと交流サロン

【移住専任相談員】

清流の国ぎふ移住・交流センター(大阪) 関由美子

TEL:090-4083-0231



●2020 岐阜ふるさと祭り開催中止のお知らせ

岐阜県各地からおいしいグルメや名産、ご当地ゆるキャラが一斉に集まり、また吹奏楽演奏やダンス、マジックショーに書道パフォーマンスなど多彩なステージイベントで来場者も多い彩都やまもりの秋祭り「岐阜ふるさと祭り」。

この度の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、来場者の皆さまと出展者・出演者およびスタッフの健康を第一に考え、大変残念ですが「2020 岐阜ふるさと祭り」は開催を中止することに決定いたしました。

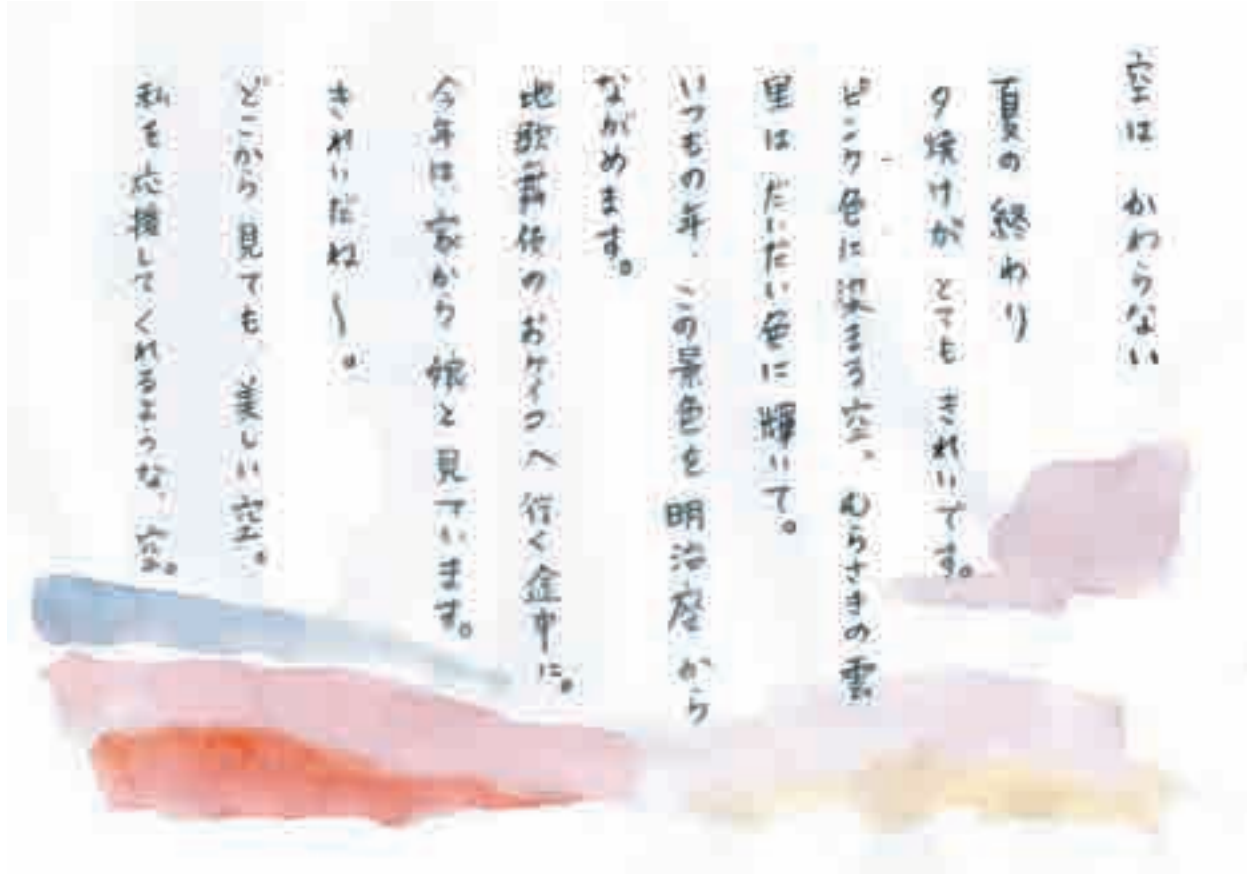
毎年、この日を楽しみにご来場いただくお客様、またこの日に向けていろいろとご準備・ご予約をいただいております出展者の皆様及びご出演者の皆様には大変申し訳ありませんが、何卒ご理解・ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

今年はこの新型コロナウイルスが猛威を振るい、一向に収束する気配がないままいろいろなイベントが中止になり本当に寂しい限りですね。一日も早く元の日常生活に戻ることを願いながら、皆さん感染予防に努めましょう！



2019 岐阜ふるさと祭り風景から

本間希代子 絵描きイラストレーター 名古屋生まれ。加子母に移住して24年目。古楽器奏者の夫と娘と日々バタバタと加子母ライフを楽しんでいます。アトリエ玉手箱 <http://febako.jp>



上／新用水記念碑と改良記念碑
下／記念碑から見おろす中桑原区



毎日何気なく見ている用水ですが、昔の人の努力の蓄積が今に繋がっているんですね。
【文責本間】

加子母の人 歴史の道⑨
第55回 中桑原／用水の歴史
加子母川沿いの平地とその東に発達した段丘からなる、加子母の中で一番狭い地域が中桑原です。今回は、「歴史の道」より、農家の生命線でもある用水の話です。灌漑用水としてだけでなく、防火用水、養鰻用水としても利用され、村営水道ができるまでは、炊事洗濯の家庭用水としても使われていました。

●新用水

江戸時代、享和元年(1801)酒屋三左衛門他21名の発起により、それまでの小規模なものを統合改修し、新用水を作りました。番田地区の加子母川左岸から水を取り、中切・上桑原・中桑原の段丘を通り下桑原地区に至るもので、当時、尾張藩からも「お手当金若干下賜」があり、延長1860間(約3.4キロ)、15町歩(約15ヘクタール弱)の水田を灌漑したそうです。記録は残されていませんが、尾張藩からのお手当金が早く来ないので三左衛門は金繰りに随分苦労したらしく「酒屋三左に狐がついてかねがこんこん尾張から」という俗謡が残っています。

その後も改修を重ね利用面積も増え、

●井の堰用水と神林用水
井の堰用水は江戸中期に作られたと言われています。中切地区から取水し、国道257号線と旧国道の間を通り、上桑原・中桑原・下桑原を通って万賀地区に至ります。

神林用水は、中桑原の神社から取水して、万賀地区まで至ります。工事の発起人、吉金組百姓総代新兵衛は、「井水根居帳」に詳細な記録を残しています。それによると新用水ができてから3年後の享和3年に起工し、翌年完成。所要人足はなんと1023人。人夫賃・地代・立毛補償等総計97両とあります。そのあとも補修と拡張を重ねています。

昭和44年にU字溝舗装が完成しました。小平墓地前の記念碑が先人の苦勞を伝えています。

